

## 平成27年度「1、2学年保護者対象進路説明会」、「クラス懇談会」

11月7日（土曜日）、午前中に「第1学年保護者対象進路説明会」、続いて午後から「第2学年保護者進路説明会」を行いました。1学年は、142名の保護者の方に、2学年は、130名の保護の方にそれぞれご出席をいただきました。また、説明会終了後には、教室でクラス懇談会が実施されました。

1. (学校長挨拶) 後掲の「挨拶文(ごあいさつ)」をご覧ください。
2. 入試の概要
3. 卒業生進路状況
4. 奨学金等
5. 1年生及び2年生の現状と展望
6. 学年主任挨拶



GTZ	目標となるレベル	主な大学
S1	東大・医学部医学科レベル	東大
S2	難関大合格レベル	一橋大、京大
S3	難関大合格レベル	東工大、阪大、九大
A1	フロック大合格レベル	広大、慶大、千葉大
A2	国公立・中堅私立大合格レベル	岡大、横国大、同志社大、立命館大
A3	国公立・中堅私立大合格レベル	山口大、県立広島大、徳島大
B1	国公立・中堅私立大挑戦レベル	広島市立大
B2	国公立・中堅私立大挑戦レベル	広島国際大、安田女子大
B3	4年制大挑戦レベル	広島女学院

あくまでも現段階での到達度です！







次回は 2月20日(土)10:00より第3回保護者進路講座(講演会)の予定です。是非ご出席下さい。

平成27年11月7日

ごあいさつ

広島市立舟入高等学校

校長 日浦 毅

本日はご多用の中、進路説明会にお越し下さいましてありがとうございます。

本説明会は、それぞれの学年ごとに、生徒の現状や傾向、指導の考え方や方向性をご説明し、保護者の皆さんにもご理解頂いたうえで、生徒が希望する進路を実現していきたいという思いで開催するものでございます。また、大学入試改革についての議論が活発になっておりますが、新たな動き等がありましたら「進路指導だより」等を通じてご提供していく予定でございます。

生徒一人ひとりには育ってきた過程で、自分が見渡せる範囲の限界である地平線を多かれ少なかれ持っています。私は「乗り越える」「境界を超える」といった言葉を入学式の式辞で述べました。これは、それぞれの地平線の向こうに行ってみようとする力を身につけてほしいという意味です。視界に捉えて地点を中間地点として目指し進んでいくことは大切でありましょう。ただし、それは中間地点であって、ゴールであると考えてはほしくないのです。そこにたどり着けばゴールが見えるかもしれませんし、そうではないかもしれません。地平線の向こうを目指す勇気を持ってほしいと思います。

海のほか何も見えないからといって、陸地がないと判断するのは  
優れた冒険者とはいえない

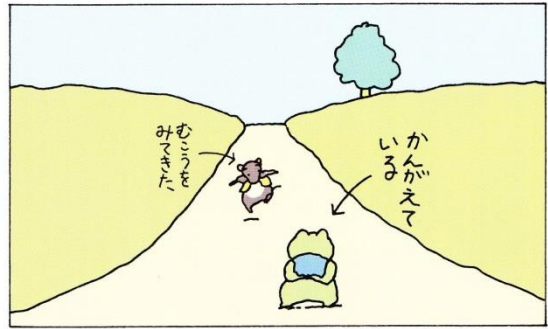
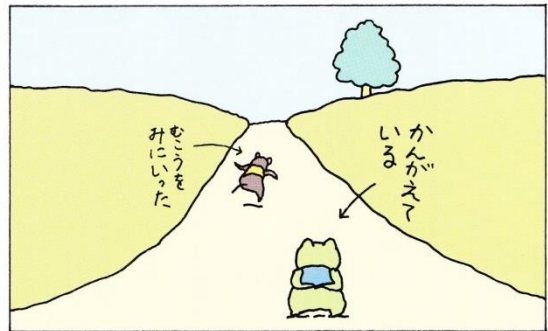
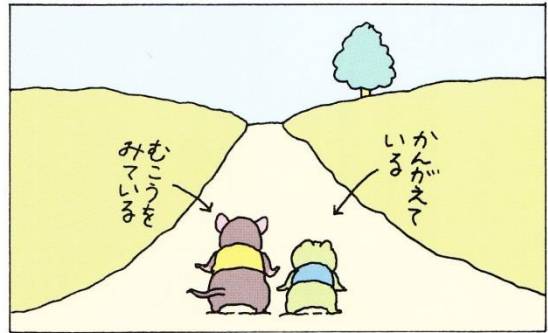
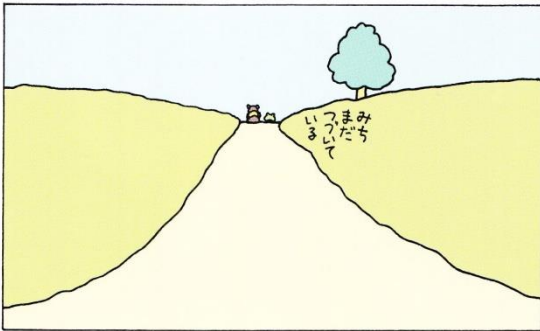
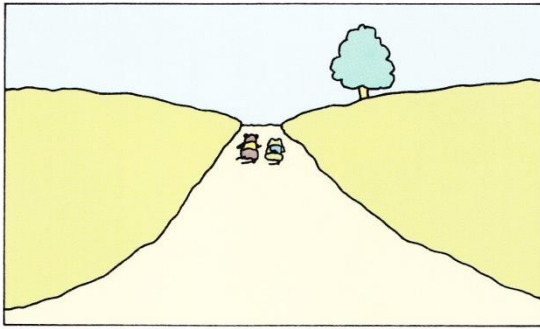
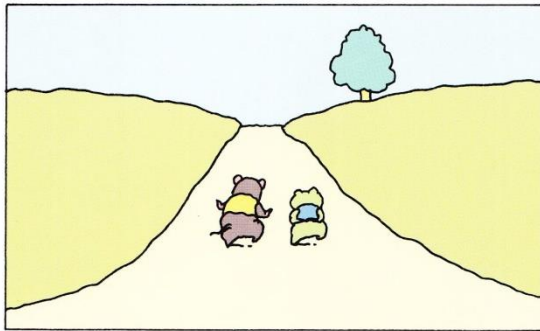
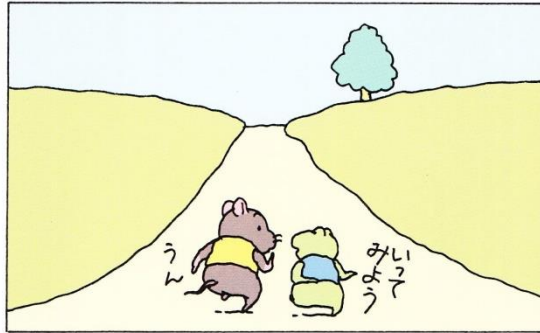
「本当に大切なものは目に見えない」といいます。その大切なものが見えてくるまで、あきらめずに頑張る若者であってほしいと願っています。舟入高校の1、2年生には、地平線の向こうを見ようとする気概を期待しています。

3年生は現在、受験勉強の真ただ中にあります。夢はあってもゴールが見えず、それでも、辿りつこうと必死に頑張っています。本校生徒には、それが出来る能力と可能性があると信じております。それは卒業生が証明してきましたし、3年生は証明しつつあります。1、2年生も例外ではありません。学習し進路を選択する主体は生徒自身ですが、私どもは保護者の皆様とともに、ある時は突き放し、ある時は寄り添いながら育てていく所存でございます。今後とも、ご支援賜りますようお願いいたしまして、ごあいさつといたします。



どこへいくみち 4

どこへいくみち 3



いわむら かずお「まだかんがえるカエルくん」